

質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	金抜設計書のロックボルト工 A(L=2.0m)の数量が 411 本となっておりますが、これは CⅡ-B-S と CⅡ-K-S の打設ピッチを 1.2m とした場合の数量と思われ、正しくは 402 本ではないでしょうか。	ロックボルト工 A (L=2.0m) の数量は 411 本が正となります。
2	金抜設計書の路盤排水工-中央排水工 B の数量が 2320m となっておりますが、これは接続管を控除した後の積算数量であって、検測数量は 2351m ではないでしょうか。	記載のとおり路盤排水工 中央排水工 B の数量は 2,351m が正となります。
3	【設計図】 49 / 131 非常駐車帯・避難連絡坑一般図 (9) に覆工取壊し図が示されています。これに伴う工事費は、どの項目に含まれば良いですか。	割掛項目の避難連絡坑補強費に計上願います。
4	【参考図】 30 / 37 工事工程表を見ると、覆工コンクリートの工程が縦断勾配変化点に達すると 5.4 カ月間休止すると読み取れます。これはどのような事象を想定しているのでしょうか。 また、工事費はこの工程表を参照して、御見積すると考えて良いですか。	全断面早期閉合掘削工法区間のインバートコンクリート施工後に覆工コンクリートを施工するよう、施工時期を調整したものとなります。

5	<p>【参考図】 32 / 37 避難連絡坑施工次第図（1）を見ると、油圧クローラドリル150kg級を用いて割岩工法の穿孔作業を行うと理解していますが、ホロカトマムトンネルではホイールジャンボ2ブーム150kg級で同作業を行うことを考えています。各々の参考図で示されている施工機械を想定し、御見積すると考えて良いですか。</p>	<p>貴社の施工計画に基づき費用計上願います。</p>
6	<p>割掛対象表参考内訳書2 / 8の仮設材等運搬費（構造物掘削・トンネル・仮栈橋）は、往復分で御見積すると考えて良いですか。</p>	<p>構造物掘削、トンネルに関わる仮設材等運搬費は往復分の費用を計上願います。 仮栈橋に関わる仮設材等運搬費は往路分のみの費用を計上願います。</p>
7	<p>水抜きボーリング及びインバート仮埋戻しの費用は、トンネル掘削に含めて良いですか。</p>	<p>水抜きボーリングに要する費用はトンネル掘削 DⅢa-S1-B（水抜有）、DⅢa-S2-B（水抜有）に計上願います。 インバート仮埋戻しに要する費用はトンネル掘削 DⅢa-S1-B（水抜有）、DⅢa-S1-B（水抜無）、DⅢa-S2-B（水抜有）、DⅢa-S2-B（水抜無）に計上願います。</p>

8	<p>金抜設計書の15頁にアスファルト舗装版取壊し (Type B) の数量は、設計図の数量表と合致して728m²となっておりますが、当該部分の数量を設計図から集計しますと、06/43の485.79m²と152.57m²、07/43の舗装切削80m×0.1mの8m²、08/43の舗装撤去80m×0.1mの8m²で、合計654.36m²となり、数量が合致しません。</p> <p>08/43の表記は、これでよろしいでしょうか。</p> <p>また、舗装切削も、当該単価表の対象面積に含まれていると考えてよろしいでしょうか。</p> <p>特記仕様書には切削に関する記載もございませんので、図面表記の確認に合わせて切削に関するご教示願います。</p>	<p>構造物取壊し工 アスファルト舗装版取壊し (Type B) の数量は654 m²が正となります。</p> <p>設計図7/43の「舗装切削」の記載については、「舗装撤去」が正となります。</p>
9	<p>起点側坑門工における内型枠、外型枠、支保工、内足場の具体的な数量、施工法をご教示願います。</p>	<p>令和5年11月15日及び令和5年12月6日の訂正公告資料をご確認ください。</p>
10	<p>仮設費工事費における、冬期養生について、冬期養生期間の平均温度はどのようになるでしょうか。</p> <p>また、どのような計画なのか、ご教示願います。</p>	<p>貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。</p>
11	<p>割掛対象表参考内訳書のダンプトラック運転費で運転労務(補助)延運転月数が134.4ヶ月になっていますが、5台目で1人、6台目で2人・・・となる補助労務の数量に対して過大な数値になっていると思われまます。正しくは約41ヶ月程度ではないでしょうか。</p>	<p>運転労務 (補助) 延運転月数は60.3ヶ月が正となります。</p>

1 2	避難連絡坑の割岩掘削の特許料は、計上されているのでしょうか。	割岩工法の特許料を考慮しております。
1 3	積算上の調達地域について 調達地域は「南富良野町」でよろしいでしょうか。 また、特記仕様書 31-7 材料調達にある資材以外で、調達地域と異なる地区を採用されている資材があればご教授願います（鉄筋、等）。	調達地域は南富良野町及び占冠村となります。 施工箇所の自治体区域によって調達地域をご判断願います。
1 4	特記仕様書 P7 10-1 冬期休止期間について 冬期休止期間（11月16日～翌4月30日）とあることから、機械損料の豪雪地域補正は無いと考えてよろしいでしょうか。	積算に関する質問についてはお答えできません。
1 5	特記仕様書 P8 10-4 通行止めによる工事予定について計測工Cの作業時間は22時～6時（8時間）とあることから、労務賃金は8時間＋時間外1時間補正（実働時間9時間）と考えてよろしいでしょうか。	作業時間22：00～翌6：00は作業可能時間を示しており、休憩1時間を含みます。 そのため、実労働時間は8時間となります。
1 6	特記仕様書 P24 21-2 建設副産物の活用等について コンクリート塊約490tのうち、鏡吹付けコンクリートの処分数量（m3数と単位体積重量）をご教授願います（実鏡吹付量の一部しか「選別・処分」を計上されていないと思います）。	令和5年11月15日及び令和5年12月6日の訂正公告資料をご確認ください。
1 7	特記仕様 P33 29-2-4(2) 土留め工の種別について 鋼矢板Ⅲ型の中古品とは、市中価格（新品）×90%でよろしいでしょうか。また、スクラップは計上されているのでしょうか、また、計上の場合、間接経費率の対象とされているのでしょうか。	土木工事積算基準第3編5-4に記載のとおりとなります。 鋼材のスクラップに要する費用は計上しておりません。

18	<p>特記仕様書 P50 29-10 交通保安要員について</p> <p>交通保安要員の作業時間は 8:30~16:30 (8 時間) とあることから、労務賃金は 8 時間+時間外 1 時間補正 (実働時間 9 時間) と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>作業時間 8:30~16:30 は作業可能時間を示しており、休憩 1 時間を含みます。</p> <p>そのため、実労働時間は 8 時間となります。</p>
19	<p>特記仕様書 P61 29-20 仮栈橋工について</p> <p>1) 特記仕様書では設置に要する費用とありますが、設計図(仮栈橋工)の数量表では設置・撤去(杭は打込み・引抜き)となっています。どちらが正でしょうか。</p> <p>2) 中古品とは、市中価格(新品)×90%でよろしいでしょうか。また、スクラップは計上されているでしょうか、また、計上の場合、間接経費率の対象とされているでしょうか。</p>	<p>1) 本工事では仮栈橋の設置のみを計画しております。</p> <p>2) 土木工事積算基準第 3 編 5-4 に記載のとおりとなります。撤去に関連する費用は含まれません。</p>
20	<p>金抜設計書 番号 20~22 について</p> <p>異形ふとんかご (3 種類) の標準単価をご教授願います。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
21	<p>金抜設計書 番号 40~42 について</p> <p>土側溝 D・(a-b)・c (A) は、切土部、盛土部のどちらで積算されているでしょうか。</p>	<p>設計図に示すとおりとなります。</p>
22	<p>金抜設計書 番号 55 について</p> <p>集水ます Type P は、積算基準のどの工種(歩掛)で積算されているでしょうか。また、使用材料単価(蓋、躯体)の掲載先、単価をご教授願います。</p>	<p>積算に関する質問にはお答えできません。</p>
23	<p>金抜設計書 番号 68 について</p> <p>継目工 IV 型にある L 型止水板の仕様・規格(単価)をご教授願います。</p>	<p>仕様については設計図書に示すとおりとなります。</p> <p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>

24	<p>金抜設計書 番号 76 について インバートコンクリートの、覆工コンクリート施工期間中の打設数量をご教授願います。</p>	<p>参考図の工事工程表を参照し算出願います。</p>
25	<p>金抜設計書 番号 80 について 公表資料のトンネル数量計算書の覆工コンクリートのうち CII、DII の積算数量の値には補正率が乗じてありません。 予定価格算出に際しては補正率を考量された数量で算出されていると考えてよろしいでしょうか。 数量計算書の巻厚 30cm 積算数量 14,928.6m³。補正率考慮後の数量は 14,563.2m³。数量計算書の巻厚 40cm 積算数量 2,294.5m³。補正率考慮後の数量は 2,247.8m³。</p>	<p>設計数量にて算出願います。</p>
26	<p>金抜設計書 番号 114 について 吹付けコンクリート B (t=5 cm) の数量は 738.7m² ですが、数量計算書では 776.5m² となっております。数量に間違いがないか確認していただけないでしょうか。</p>	<p>吹付けコンクリート B (t=5 cm) の数量は 738.7m² が正となります。</p>
27	<p>金抜設計書 番号 117 について ロックボルト工 B (L=4.0m) の数量は 5,692 本ですが、数量計算書では 5,982 本となっております数量に間違いがないか確認していただけないでしょうか。</p>	<p>ロックボルト工 B (L=4.0m) の数量は 5,692 本が正となります。</p>
28	<p>金抜設計書 番号 125～126 について 土木工事積算基準書には、鋼アーチ支保工の 6 ピース構造の歩掛が記載されておられません。歩掛を公表していただけないでしょうか。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
29	<p>金抜設計書 番号 136～140 について 計測工 C は、積算基準のどの工種(歩掛)で積算されているでしょうか。また、使用材料単価の掲載先、単価をご教授願います。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>

30	金抜設計書 番号 177～180 について 無筋コンクリート塊、有筋コンクリート塊、アスファルト塊の積算上の単位体積重量 (t/m ³) をご教授願います。	貴社のご判断に基づき費用を計上願います。
31	金抜設計書 番号 180 について アスファルト舗装版取壊し (Type B) について、数量計算書では舗装切断工が計上されておりますが、予定価格に計上されているでしょうか。	アスファルト舗装版取壊し (Type B) に舗装切断工に要する費用は含まれます。
32	金抜設計書 番号 184～189 について 立木伐採工は NEXCO 積算基準に歩掛が無いと思います。 適用基準をご教授願います。	貴社の施工計画に基づき費用計上願います。
33	金抜設計書 番号 190～191 について 立木伐採工処分費 (幹)、処分費 (枝・葉) の積算上の単位体積重量 (t/m ³) をご教授願います。	貴社のご判断に基づき費用を計上願います。
34	金抜設計書 番号 192～193 について 中層混合処理は NEXCO 積算基準に歩掛が無いと思います。適用基準は国交省と考えてよろしいでしょうか。 国交省の場合、機械損料の週休 2 日 (稼働率) 補正は無しでよろしいでしょうか。	積算に関する質問についてはお答えできません。
35	金抜設計書 番号 195～196 について 高盛土排水工の水平排水層と基盤排水層の詳細図を示していただけないでしょうか。	設計図書及び貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。

36	<p>図面番号 雑工・付帯工 14/18 について</p> <p>ふとんかご工詳細図には、「※中詰材についてはふとんかご撤去で発生した碎石を優先して再利用し、不足分のみ購入材とする」とありますが、予定価格算出時に計上する材料数量は図面の材料数量を計上されているのでしょうか。</p>	<p>撤去したふとんかご体積と同等の栗石を再利用し、それ以外は購入材とする計画としております。</p>
37	<p>図面番号 土工 60/71 について</p> <p>Dv-P(cor)-φ0.20 の管の 10m 当たり数量では管の延長が 1.3 個となっていますが間違いないでしょうか。また土工数量も 10m 当たりで間違いないでしょうか。</p>	<p>令和 5 年 11 月 15 日及び令和 5 年 12 月 6 日の訂正公告資料をご確認ください。</p>
38	<p>図面番号 共通 1/4、図面番号 土木 63/71 について</p> <p>記号 Dv-P (Cor) -φ-L は名称が高密度ポリエチレンリブ付管となっていますが、特記仕様書 29-22 にはこの記号に対してコルゲート製と記載されております。いずれが正しいかご教示願います。</p>	<p>管の材質については設計図書に示すとおりとなります。</p>
39	<p>土木工事積算基準について</p> <p>土木工事積算基準 令和 5 年度版の爆破掘削方式（補助ベンチ付き全断面掘削工法）のバックホウ、大型ブレーカのベースマシンの排ガス対策基準が 2 次から 3 次基準に変わりましたが、後方小旋回型でよろしいでしょうか。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>

4 0	<p>閲覧資料にある骨材およびアスファルト合材は、同一材料で占冠村現着と、南富良野町現着の2つの単価が記載されています。資料表紙の【注意事項】に「積算に使用する設計単価の一部」の記載があるため、使用場所に応じて単価を使い分けると理解して良いですか。</p> <p>例として、 工事起点側で使用する切込碎石 40-0mm → 勇払群占冠村 現場着持込単価を使用 工事終点側で ー ー → 空知郡南富良野町 現場着持込単価を使用</p>	<p>貴社の施工計画に基づき費用計上願います。</p>
4 1	<p>令和5年10月の北海道支社管内 土木工事設計材料単価表にある生コンクリートの単価は、閲覧資料の骨材類と同様に、同一材料で占冠区(占冠村)現着と、トマム区(南富良野町)現着の2つの単価が記載されています。</p> <p>閲覧資料の骨材類の単価と同じく、コンクリートについても使用場所に応じて単価を使い分けると考えて良いですか。例として、 工事起点側にある函渠工のコンクリート → 勇払群占冠村 現場着持込単価を使用 工事終点側から搬入する覆工コンクリート → 空知郡南富良野町 現場着持込単価を使用</p>	<p>貴社の施工計画に基づき費用計上願います。</p>
4 2	<p>インバートおよび避難連絡坑の床板で使用する C2-1(T)および C2-1(Ts)は、特記仕様書でσ28 強度、粗骨材の最大寸法、スランプ、空気量、セメントの種類に記載がありますが、W/C の記載はありません。このため W/C は、コンクリート施工管理要領で標準とされる 65%以下と考えて良いですか。</p>	<p>記載のとおり C2-1(T)及び C2-1(Ts)については W/C が 65%以下の材料を使用する計画としております。</p>

4 3	<p>覆工コンクリートをはじめとするトンネル坑内で打設するコンクリートは、1年を通じて施工する計画になっています。</p> <p>プラントから出荷されるコンクリートは冬期間に割増料金が発生しますが、この費用はトンネル工に関連する「コンクリート」の単価に含まれると考えてよいですか。</p>	<p>貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。</p>
4 4	<p>コンクリートの積算に必要な施工期間(ヶ月)は、覆工コンクリートの施工開始から終了までの期間(休日、休止期間を含む)とする考え方でよろしいですか。</p>	<p>そのとおりです。</p>
4 5	<p>汚濁水処理工に計上される「濁水処理装置」は、土木工事積算基準(令和5年版)5.5-1積雪地域等における補正の対象機械と考えて良いですか。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
4 6	<p>フリッカ設備工に計上される「フリッカ設備」は、土木工事積算基準(令和5年版)5.5-1積雪地域等における補正の対象機械と考えて良いですか。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
4 7	<p>縦断図より、トンネル掘削進行方向の縦断勾配は、STA.1048+20を境に昇り勾配から下り勾配に移行します。STA.1048+20以降の「突込み施工を行う区間」の湧水を強制排水させる設備の費用は、割掛準備工事費の「坑内仮排水設備費」に含むと考えて良いですか。</p>	<p>STA.1048+20より起点側における強制排水に要する設備費は、坑内仮排水設備費に計上願います。</p>
4 8	<p>特記9に「取水設備の設置、維持管理及び撤去等に要する費用については関連する単価表の項目の単価に含む」の記載があります。この費用は、関連する単価表の項目の単価に振り分ける、割掛仮設備工事費の「給水設備費」に計上するという理解で良いですか。</p>	<p>特記9に記載の費用は、給水設備費に計上願います。</p>

4 9	2023. 11. 6 質問回答⑨-5 で、ずり処理工の合計数量(検測数量)は 211, 013. 4m ³ が正とする回答がありました。この回答に伴い修正される、ずり処理工 A1、A2、B1～3 の各数量をご教示ください。	令和 5 年 11 月 15 日及び令和 5 年 12 月 6 日の訂正公告資料をご確認ください。
5 0	特記仕様書 29-6-2 で型枠 C(T)の備考欄に支保工の記載がありますが、起点側坑門工の拡幅断面部の内型枠は本坑非常駐車帯の覆工コンクリートで使用するセントルフォームを使用しない計画で積算されているのでしょうか。また、擦付断面部の内型枠についてはいかがでしょうか。	積算に関する質問についてはお答えできません。
5 1	特記仕様書 29-6-2 で型枠 C(T)の備考欄に支保工の記載がありますが、終点側坑門工の内型枠には本坑標準部の覆工コンクリートで使用するスチールフォームを使用しない計画で積算されているのでしょうか。	積算に関する質問についてはお答えできません。
5 2	特記仕様書 29-7-1-(1)-3)において「鏡吹付コンクリートの取壊しに要する費用を含む」とありますが、トンネル掘削の発破による破砕ではなく、コンクリート取壊し費を別途計上しているものと考えてよろしいでしょうか。	別途取壊し費は計上しておりません。
5 3	特記仕様書 29-7-4-(1)において、「鏡吹付コンクリートの取壊しにより生じたコンクリート塊の選別・・・」に要する費用を含むとありますが、コンクリート塊の選別に要する労務費等を計上されているものと考えてよろしいでしょうか。その場合、コンクリート塊の選別作業の歩掛をご教示願います。	貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。
5 4	ずり処理工について伺います。ずり処理工 A1、ずり処理工 B4 は、区分内容の欄に、「ずり積替え位置までの運搬」との記載が無い事から、それぞれ本線盛土箇所、自工区内ずり仮置場までは、切羽から直送するとの考えでよろしいでしょうか。ご教示願います。	そのとおりです。

5 5	<p>狩勝第一トンネル工事の積算に使用する設計単価として、材料単価が公表されておりますが、8月時点で公表されている単価であります。土木工事積算基準の材料の価格の項目には、「原則として、入札時における市場価格」と記載されているため、公表されている単価と入札時点の市場価格と乖離がある場合は、契約後に、協議事項となるとの解釈でよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。 なお、土木工事共通仕様書 1-37～39 に基づき協議願います。</p>
5 6	<p>吹付コンクリートや地盤改良で使用するセメントの単価は、札幌と旭川のどちらの地域の価格を採用するのでしょうか。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
5 7	<p>特記仕様書 P31 29-2-1 (1)について 道路掘削 土砂 A の区分内容について本線掘削箇所に関する記載はありますが、数量明細書によると、道路掘削 土砂 A は坑門工、トマム川橋工事用道路、工事用道路 A、工事用道路 B が該当しますのでこれらの作業内容について掘削した土砂の運搬先などの作業内容を追記願います。</p>	<p>掘削土は設計図に示す箇所へ盛土する計画としてください。詳細の作業内容については貴社の施工計画を検討願います。</p>
5 8	<p>金抜き設計書 番号 99 について DⅢa-S2-B(水抜無)区間には AGF 工 L=12.5m 4 シフトと L=6.5m 1 シフトが計画されていますが、掘削サイクルタイムには補助工法による加算時間を DⅢa-S2-B(水抜無)区間延長で除して 1 サイクルあたりの時間を算出していると考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。</p>
5 9	<p>注入式長尺鋼管先受工 打設工 A 及び注入工 A について、坑外の施工はトンネル労務の 1 方施工 (実働 8 時間) とお考えでしょうか。</p>	<p>貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。</p>

6 0	中央排水工Bで使用されるフィルター材の品名は以下のどれでしょうか。ご教示願います。 ② 切込碎石 80～0mm ② 切込碎石 40～0mm	フィルター材はインバート埋戻し材に使用する切込碎石80～0mmとなります。
6 1	D1-1、C2-1、A1-3、B2-1は、「令和5年度北海道支社管内土木工事設計材料単価表」記載のトマム区南富良野町単価を採用でよろしいでしょうか。 異なる場合はどの単価を採用するかを含め、御教示下さい。	積算に関する質問についてはお答えできません。
6 2	設計図（擁壁工）2/57「STA. 1033+28. 659」に記載されている型枠C：5.5㎡については、数量明細表に記載がありません。この数量については、どこで計上するのか御教示下さい。	ブロック積工（STA. 1033+28. 659）の型枠Cの数量は5.5㎡が正となります。
6 3	設計図（函渠工）1/17、設計図（擁壁工）8, 32/57に記載されている凍上抑制材とは、「骨材・アスファルトコンクリート混合物の材料単価（狩勝第一トンネル工事）」に記載されている「切込碎石80～0mm※1」でよろしいでしょうか。異なる場合はどの単価を採用するかを含め、御教示下さい。	記載のとおり「切込碎石80～0mm※1」の材料単価が凍上抑制層に使用する材料に該当します。
6 4	設計図（函渠工）1, 2/17に記載されているL型止水板の寸法及び仕様について、御教示下さい。	仕様等については設計図書に示すとおりとなります。
6 5	金抜き設計書NO. 236 特-(12)防護柵B-1(6m)の数量は116mですが、設計図(撤去工)28/43 防雪柵材料表では「149m」となっています。どちらが正しいのでしょうか。御教示下さい。	撤去工 防雪柵B 1 (H=6m)の数量は116mが正となります。

66	<p>「設計図 参考図」には沈砂池 a、b-1、b-2、c-1、c-2、c-3、d と 7 箇所の沈砂池が記載されています。</p> <p>割掛対象参考内訳 雑工事費には 6 箇所施工と記載されています。</p> <p>どちらが正しいのでしょうか。</p> <p>6 箇所の場合は、どの沈砂池を施工しないかを含め、御教示下さい。</p>	<p>令和 5 年 11 月 15 日及び令和 5 年 12 月 6 日の訂正公告資料をご確認ください。</p>
67	<p>沈砂池 (a、b-1、b-2、c-1、d) に設置した水中ポンプの設置期間を御教示下さい。</p>	<p>貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。</p>
68	<p>沈砂池 (a、b-1、b-2、c-1、d) に設置した水中ポンプは、常時運転、作業時運転のどちらでしょうか。御教示下さい。</p>	<p>貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。</p>
69	<p>仮囲いに使用する材料は、材料購入、賃料のどちらでしょうか。購入の場合は新品・中古品のどちらでしょうか。賃料の場合、賃料期間を含め御教示下さい。</p>	<p>材料は購入材 (中古品) の計画としております。</p>
70	<p>土砂流出防止柵の設置期間を御教示下さい。</p>	<p>貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。</p>
71	<p>番号 233～番号 240「撤去工 防雪柵」について</p> <p>防雪柵の撤去は、土木工事積算基準に項目が有りません。</p> <p>準拠する積算基準を御教示下さい。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
72	<p>①【設計図】5P 盛土場拡大図 (1) に記載されている「占冠地区盛土場」と、⑧【特記仕様書】29-7-4 ずり処理工 (種別) ずり処理工 A1 文中に記載されている「本線盛土場」は同一のものと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>本線盛土箇所は、設計図に示す盛土箇所となります。</p>
73	<p>①【設計図】6P 土運搬経路図 (2) に表記されている、トمام IC 盛土場の盛土場拡大図を頂けないでしょうか。</p>	<p>令和 5 年 11 月 15 日及び令和 5 年 12 月 6 日の訂正公告資料をご確認ください。</p>

7 4	<p>ずり運搬について、坑口から直接本線用地を通過して、STA. 1073 付近まで運搬する事は可能でしょうか。</p>	<p>設計図書に示す工事用道路を使用した運搬計画を検討願います。</p>
7 5	<p>⑩割掛対象表参考内訳書【仮設備工事費】－足場工事費には数量内訳等の記載がありますが、⑨割掛対象表の◎仮設備工事費－足場工事費には割掛先契約項目を示す○が有りません。割掛先契約項目、変動・固定の区分をご教示願います</p>	<p>足場工費の割掛先は以下の項目となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート A 1－3 ・型わく C ・はく落防止対策工 A
7 6	<p>【割掛 仮設備工事費 ダンプトラック運転費】 11/7 質問回答⑩-10 に、運転労務(補助)延運転月数は数量内訳に記載の 134.4 ヶ月を計上する回答がありましたが、弊社で計算した月数を大きく超えた値になっています。数量内訳にインバート掘削分の条件がないため、その分の費用を見込んだ換算月数が記載されているのでしょうか。それとも、134.4 ヶ月はインバート掘削以外の運転労務月数であり、インバート掘削による費用は別に見込むということでしょうか。</p>	<p>運転労務(補助)延運転月数は 60.3 ヶ月が正となります。</p>
7 7	<p>【特記 29-12 立木伐採工 雑木伐採 A】 立木伐採工の内、数量単位が m² の雑木伐採 A は、立木の密集度が疎生、中庸、密生の 3 条件により費用が大きく異なりますが、密集度は詳細調査を行わないと判断できません。 幹回り 20cm 以上の立木は A1～A5 で除かれるため、雑木伐採 A の積算上の条件は密集度を疎生とし、現地条件が異なる場合には別途協議と考えてよろしいですか。</p>	<p>契約後、条件変更について、別途監督員と受注者間で協議となります。</p>

78	<p>【特記 29-3-6 ふとんかご工】 ふとんかご工の特記(2)材料の項目に、「撤去したふとんかごの栗石及び碎石を優先して再利用すること」の記載があります。中詰め材は経年変化による痩せや回収時にロスが発生するため、再利用材で製作できるふとんかごの枚数は撤去枚数より少なくなります。このため中詰め材を再利用する積算上の条件(再利用分の枚数または撤去ふとんかごの中詰め材のロス率)をご教示いただけますか。</p>	<p>中詰め材の再利用する量に対するロス率は考慮しておりません。</p>
79	<p>【特記 29-13 地盤改良工】 地盤改良工の特記(3)種別の表に、「中層混合処理機(トレンチャ式)を用いて行う」の記載があります。トレンチャ式の改良機を使用するのはパワーブレンダー工法の1種類であるため、工法の使用により発生する特許料は中層混合処理A およびB の設計単価に含まれると考えてよいですか。</p>	<p>特許使用料は、中層混合処理A及びBに含まれます。</p>
80	<p>【特記 29-13 地盤改良工】 地盤改良工の特記(3)種別、表中の固化材A の適用欄に「フレコン(1t パック)」の記載があります。 フレコン入りの固化材を使用する場合、フレコンの搬入およびプラント供給用に専用の揚重機が必要になります。 この費用は中層混合処理A およびB の設計単価に含まれると考えてよいですか。</p>	<p>材料の積み下ろしに要する費用は中層混合処理の単価に含まれます。</p>

8 1	<p>【特記 29-13 地盤改良工】</p> <p>中層混合処理機（トレンチャ装備の改造型バックホウ）の足場には、特記 19-5 にある転倒防止対策用の鉄板を敷設する必要があります。</p> <p>この費用（運搬・設置・撤去・損料等）は中層混合処理 A および B の設計単価に含まれると考えてよいですか。</p>	<p>鉄板敷設に要する費用は中層混合処理の単価に含まれません。</p>
8 2	<p>【特記 29-13 地盤改良工】</p> <p>地盤改良工の特記(4)配合の表で示された中層混合処理 A、B の暫定添加量では、概算 50t/日以上 の練り混ぜ水が必要になります。</p> <p>現地改良試験から設計添加量が決定されること、工事用水の水源および供給可能水量が不確定なことから、この費用については別途協議と考えてよいですか。</p>	<p>工事用水については特記仕様書 9 に記載のとおりとなります。</p>
8 3	<p>【特記 29-7-6 計測工 C】</p> <p>計測工 C の計測器用の AC100V 電源は I 期線トンネル坑内の電源を使用できますか。</p> <p>もし、使用できない場合、本工事用の仮設電力設備から電源を確保するものとし、その費用は計測工 C の単価に含めると考えてよいですか。</p>	<p>本工事用の仮設電力設備から電源を確保する費用については関連する単価に含まれます。</p>

8 4	<p>【特記 29-20 仮栈橋工】 仮栈橋工の特記(3)材料の項目に、「設置工に使用する材料は設計図書に示すものの他中古品の購入材とし」の記載があります。各部材の規格を示す表には新品でしか購入できない部材が含まれますが、表に記載の使用材料は積算上の条件から全て中古の購入価格で積算すると考えてよいですか。また、新品の調達しかできない材料については別途協議と考えてよいですか。</p>	<p>貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。</p>
8 5	<p>【特記 29-6-1 構造物用コンクリート】 トンネルは通年で施工するため、冬期間に打設するコンクリート(吹付コンを除く)には冬期割増料金がかかります。この費用はトンネル工に関連する「コンクリート」の単価に含まれると考えてよいですか。</p>	<p>冬期割増料金は関連するコンクリートの単価に含まれません。</p>
8 6	<p>【特記 29-6-1 構造物用コンクリート A1-3(T)】 坑門工設計図(55/131、72/131)の数量表にあるコンクリートの数量は、起点側、終点側共にアーチ部とインバート部の合計数量と考えられます。単価表のコンクリート A1-3(T)の数量は坑門工の全コンクリート数量になっているため、坑門工のインバート部は繊維入りコンクリート A1-3(T)を使用すると考えてよいですか</p>	<p>インバート部のコンクリートは繊維を混入しません。</p>
8 7	<p>割掛対照表について 割掛項目「足場工」に割掛先契約項目(○)が無いと思います。割掛先契約項目をご教示願います。</p>	<p>足場工費の割掛先は以下の項目となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート A1-3 ・型わく C ・はく落防止対策工 A

88	<p>割掛対照表参考内訳書 5/8 給水設備費について トンネルの給水設備について取水ポンプは計上されていますか。 計上されている場合は計上している単価項目をご教示願います。</p>	<p>取水ポンプについては給水設備費に含まれます。</p>
89	<p>令和5年度 北海道支社管内 土木工事設計材料単価表について 生コンクリート、骨材、アスファルト合材で予定価格算出に採用されている単価は、令和5年度_北海道支社管内_土木工事設計材料単価表_令和5年10月単価でよろしいでしょうか。この材料単価表に掲載されているが異なる単価を採用されている資材があればご教示願います。</p>	<p>生コンクリート、骨材、アスファルト合材については、「令和5年度 北海道支社管内 土木工事設計材料単価表（令和5年10月）」に記載の単価を当社では使用しています。</p>
90	<p>鏡吹付コンクリートの面積について、例えばDIIIa(H)-S1-Bパターンの上半では、支保パターン図で51.936m²（設計断面の周面吹付の内側の面積）、数量計算書で58.449m²（支払い断面の周面吹付の外側の面積）、施工計画書の掘削サイクルタイム表で58.4m²（同左）、施工計画書の鏡補強工サイクルタイム表で53.0m²（支払い断面の周面吹付の内側の面積）とバラバラの数値が使われていますが、今回工事における各サイクルタイム計算や積算にはどの数値を採用されているかご教示願います。</p>	<p>設計図書に示す数量のとおりとなります。</p>
91	<p>割掛対象表参考内訳書の避難連絡坑補強費で補強ロックボルト打設が24本になっていますが、24本は供用線到達部のL=2.0mのロックボルトで単価項目の数量に含まれているものと思われます。 割掛の対象となるのは新設線側のL=4.0mの10本ではないでしょうか。</p>	<p>記載のとおり、L=4.0mの10本が正となります。</p>

9 2	ずり処理工のルートとして工事用道路 A を使うルートと工事用道路 B を使うルートがありますが、この使い分けの考えについてご教示願います。	貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。
9 3	【質問と回答⑨】番号 12 で P=6.5m の先受け工の本数を 31 本と回答されましたが、数量計算書 P2-1-58 にもありますように、DⅢa(H)-S2-B パターンの先受けですので 27 本ではないでしょうか。	質問と回答⑨に回答した、DⅢa(H)-S2-B の支保パターン部における 1 シフト P=6.5m の本数は 27 本が正となります。
9 4	【質問と回答⑨】番号 20 で本坑と避難連絡坑の吹付機が別機種と回答されましたが、本坑と兼用ではないため、避難連絡坑の吹付機についても供用損料を計上するという考えでよろしいでしょうか。また、共通仮設費の工事用機械分解組立費(トンネル)のコンクリート吹付機も 2 台に修正されるものと考えてよろしいでしょうか。	令和 5 年 11 月 15 日及び令和 5 年 12 月 6 日の訂正公告資料をご確認ください。
9 5	⑪【参考図】図面番号 30/37 の工事工程表に記載されている平均月進が貸与資料「1_令和 3 年度 道東自動車道 帯広管内道路構造検討 REPORT31 トンネル施工計画書 P26」に記載されている平均月進と異なります。	設計図書に示す条件に基づき検討願います。
9 6	⑦【金抜設計書】項目番号 12-(1)トンネル掘削および項目番号 12-(2)吹付けコンクリート工の単価算出にあたり、貸与資料「1_令和 3 年度 道東自動車道 帯広管内道路構造検討 REPORT31 トンネル施工計画書 P18」に記載されているサイクルタイムを使用しているのでしょうか。使用していない場合は単価算出に用いた新たなサイクルタイムをご提示願います。	設計図書に示す条件に基づき検討願います。

<p>9 7</p>	<p>工事箇所が占冠村と南富良野町の2町村にまたがっています。「令和5年度 北海道支社管内 土木工事設計材料単価表」に記載されている生コンクリート・骨材および閲覧資料に記載されている骨材は下記のどの単価を採用されているかご教示願います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 工事箇所起点、終点側のどちらからも最も近い南富良野町の単価を全線採用 2. 工事箇所が南富良野町の場合は南富良野町の単価および占冠村の場合は占冠単価とわけて採用 3. 全線占冠村単価を採用 4. 上記1～3以外の場合は採用区分をご提示願います 	<p>施工箇所の自治体区域によって使用単価をご判断願います。</p>
<p>9 8</p>	<p>「2023年10月3日質問書に対する回答1 番号7」の回答において「設計注入量82kg/本、総注入量2,214kgが正となります。」と回答されています。</p> <p>一方、「2023年11月6日質問書に対する回答 番号12」の回答において「最終シフトとして1シフトP=6.5mの坑内施工となり、DⅢa(H)-S2-Bの支保パターン部にて31本の施工を計画しております。」と回答されています。</p> <p>また、2023年11月15日交付⑥【設計図】トンネル工：図面番号029/131の注入式長尺先受工・長尺鏡ボルト工 材料表（1シフトP=6.500m当り）において注入式長尺先受け工：31本（シリカレジン注入材）、先受け工注入材2,214kg（82kg/本×27本）と記載されています。施工本数は27本と31本のどちらなのかご教示願います。</p>	<p>質問と回答⑨に回答した、DⅢa(H)-S2-Bの支保パターン部における1シフトP=6.5mの本数は27本が正となります。</p>

9 9	<p>⑪【参考図】図面番号 34/37 の仮設防音壁工一般図に記載されている 2 つの数量表は施工延長 L=40m 当りの数量ではないでしょうか。総延長 L=234.5m 全体の数量をご教示願います。</p>	<p>参考図に記載の数量表は 40m 当りの数量表となりますので、全延長 234.5m に換算して数量を算出願います。</p>
1 0 0	<p>⑪【参考図】図面番号 34/37 の仮設防音壁工一般図に記載されている防音パネル（HFS-100SP）の単価が物価資料等に記載されていません。材料単価および算出根拠をご提示願います。</p>	<p>設計図書に基づき貴社のご判断にて材料単価を計上願います。</p>
1 0 1	<p>割掛対象表参考内訳書 3/8 工事用道路維持補修費について、散水箇所と期間が明示されていますが、散水車の稼働に関して以下 1～3 をどのように想定されているでしょうか。ご教示願います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 散水日数を算出する場合の降雨日数の控除について 2. 散水日当たりの 1 路線の散水回数について 3. 散水回数または散水日当たりの運転時間について 	<p>貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。</p>
1 0 2	<p>割掛対象表参考内訳書 6/8 吹付プラント冬季養生費および濁水処理設備冬季養生費の気積数量が 324m³ と 270m³ となっていますが、ホロカトマム工事の内訳書では約 1200m³ と 500m³ となっています。狩勝第一トンネルの気積は設備容積を控除後の数量でホロカトマムと同程度の設備と考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>気積については以下の内容が正となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吹付プラント冬季養生費：約 1,080m³ ・汚濁水処理設備冬季養生費：約 540m³
1 0 3	<p>割掛対象表参考内訳書 6/8 火薬取扱い費に掘削開始から掘削完了期間が 39.9 か月とありますが、この期間には避難坑の掘削期間も含まれているでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>記載の掘削期間には避難連絡坑の掘削期間も含んでおりません。</p>

104	<p>参考図 (30/37) 工事工程表</p> <p>図面に明示されている月当たり進行長で工程を算出すると掘削開始から掘削完了が 39.9 か月を超えて 40.8 か月となります。月当たり進行長に間違いがありましたら修正していただけないでしょうか。</p>	<p>貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。</p>
105	<p>11月15日訂正の特記仕様書 P24 の 21-2 に建設副産物の数量において、コンクリート塊の数量が約 8,660t と記載されております。発生場所の数量を合計しますと 10,660t は超えるものと思われます。</p> <p>その差は鏡吹付コンクリートの回収率の設定が介在しているのであればその回収率の考え方についてご提示願います。</p>	<p>令和 5 年 11 月 15 日及び令和 5 年 12 月 6 日の訂正公告資料をご確認ください。</p>
106	<p>トンネルで使用する生コンクリートには冬季に施工するものもございます。冬季に使用生コンクリートについては冬季割増料金を含めたものとして計上されていますでしょうかご教示願います。</p>	<p>冬期期間に施工するコンクリートには冬期割増の費用を計上願います。</p>
107	<p>工事用道路維持補修費には、モーターグレーダ、普通作業員、補足材は含まれていますでしょうか、それとも散水車の運転のみの計上でしょうか</p>	<p>貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。</p>